

# G I Sを使った地図の使い方を考える

## ★おすすめ本リスト★



### 【一般書】

『参加型G I Sの理論と応用—みんなで作り・使う地理空間情報』

若林芳樹／編著 今井修／編著 古今書院 2017年

参加型地理情報システム（PGIS）の技術や仕組みについて解説するとともに、災害時のハザードマップや福祉サービスなど、様々な分野での事例も紹介。

『生活・文化のためのG I S』

村山祐司／著 今井修／著 朝倉書店 2009年

「シリーズG I S」（全5巻）の3巻目。医療・健康，安全・安心，ハザードマップなどG I Sの活用例を具体的に紹介している。

『地元を再発見する！手書き地図の作り方』

手書き地図推進委員会／編 学芸出版社 2019年

まちの魅力を発見し，地元愛をこめて書く，手書きの地図の作り方を紹介。まちを案内するノウハウが書かれている。

『地図の進化論』

若林芳樹／著 創元社 2018年

地図をめぐる技術は，岩絵から紙の地図，グーグルマップへと変遷してきた。人と地図媒体の関わりにより，人々の世界像はどう変化するのか。地図技術の進歩と未来への展望を綴る。

『地図がわかれば社会がわかる』

田代博／著 新日本出版社 2016年

地図の歴史や社会との関わりからデジタル地図事情まで，多くの図版と共に楽しく解説。地図の基本から活用法，地図アプリの話まで，幅広く取り上げる。

『グーグルマップの社会学』

松岡慧祐／著 光文社 2016年

身近な存在であるグーグルマップは，現代社会にどういった影響を与えているのか。グーグルマップと共存するわたしたちの日常生活を社会学の面からとらえた新しい地図論。

『ゼンリン住宅地図と最新ネット地図の秘密』内田宗治／著 実業之日本社 2014年

実地調査から作られ，デジタル地図にまで普及している住宅地図ならではの魅力を追求する。「住宅地図からわかる戦国大名人気ランキング」など，住宅地図のユニークな見方も紹介。

『フィールドワーカーのためのGPS・GIS入門』 古澤拓郎／著 古今書院 2011年  
野外調査でも多く活用されているGISやGPSについて、基礎知識や地図アプリの選び方、便利な使い方まで、フルカラーでわかりやすく解説。野外調査にGIS・GPSを利用したい人への入門書。

## 【児童書】

『発見しよう!つくってみよう!まちの地図 (全3巻)』

長谷川直子／著 河出書房新社 2019年

市区町村のガイドマップなど地図づくりを通して、地図のしくみや、そこから得られる情報について学べる。

『基礎からわかる地図の大百科 (全4巻)』

田代博／著 岩崎書店 2018年

シリーズは、「地図の基礎を知ろう」・「世界地図と地球儀」・「自分で地図をつくってみよう」・「社会科見学 地図をつくるしごとば」で構成されている。地図について、さまざまな角度から、見て・考えて・体験できる。

『地図博士になろう!』

梅澤真一／著 PHP研究所 2014年

紙の地図から電子地図までの歴史や図法、種類に加え、地図記号など地図の読み方も紹介。地図に関する基礎知識を身に着けることができる一冊。